

一〇億追加し 経済対策強化

臨時市議会で一般会計補正予算可決

上越市議会は17日、臨時議会を開催し、平成21年度一般会計補正予算など9の議案を審議、いずれも全会一致で可決しました。

このうち、一般会計補正予算は、歳入歳出予算総額に20億5561万円追加。同予算の規模は1160億円6901万円となりました。

今回の補正予算は国の第2次補正予算の成立により交付されることとなった「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」を具体化するものです。市では、「できるだけ多くの企業・事業所や市民に効果が及ぶ経済対策となるよう編成した」としています。

歳出の中で最も大きなものは、教育費です。6億8928万円の補正となりました。安全・安心な学習環境を整備するため、大手町小学校の耐震補強工事や直江津中学校のグラウンド改修工事を実施するほか、小・中学校30校の玄

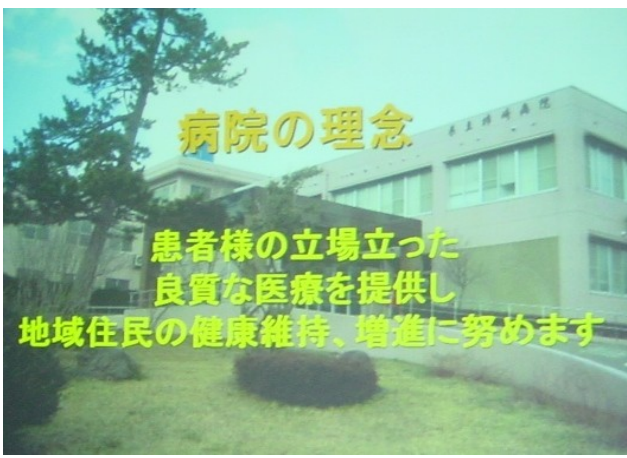
関のオートロック化や修繕に係る経費が計上されました。また、ユートピアくびき希望館の冷温水発生機の取替えや水族博物館の海水取水設備の改修に係る経費も計上されています。

歳出で二番目に多いのは土木費。5億7937万円の補正です。市道元屋敷米岡線など早期に工事発注が可能な市道34路線について、道路改良や側溝改良工事を実施するほか、経年劣化により損傷が大きな市道23路線の路面補修費を計上しています。また、公営住宅の畳の入れ替えや外壁改修などにより、入居者が快適に暮らせる居住環境の整備を図るほか、高田公園やこどもプールなどの修繕料も盛り込まれました。

衛生費は、3億1751万円の補正。第1・第2クリーンセンター及び汚泥リサイクルパークの各設備の修繕料を補正するとともに、上越斎場及び頸北斎場の火葬炉などの修繕料も計上されました。

私は所属する総務常任委員会の審査の中で、高田城三重櫓の外壁塗装修繕計画の提示するよう求めました。4年間で720万円を投じるそうです。

旧竹直小学校など25か所で分散保存している公文書・古文書等の保存環境の改善についても質問しました。今回の予算では、旧竹直小学校2階の5つの教室に、温室度自動設定機能付き除湿機5台、スチール製書棚60個の設置経費が計上されました。



柿崎病院後援会理事会開催

2月16日、県立柿崎病院後援会の理事会が開催され、藤森勝也病院長から、病院経営の現状が報告されました。

同病院は地域住民にとっていのちの綱。医師確保や施設設備の充実は依然として大きな課題となっています。病院、行政、地域住民がひとつになって守っていかねばなりません。

た。除湿、虫食い対策が重要です。

地域活性化・きめ細かな臨時交付金を活用する事業 (柿崎区、吉川区、大島区にかかわる主なもの)

吉川ケーブルテレビ施設改修事業	2107万円
旧竹直小学校除湿設備設置工事、整理棚購入費	702万円
柿崎区総合事務所管理費(庁舎排煙窓改修)	430万円
ハマナス源泉井戸に地下水の流入を防ぐ改修工事	2583万円
あさひ荘の浴槽、トイレ、駐車場修繕(大島区)	1619万円
頸北斎場の火葬炉の煉瓦積替え、耐火台車の修繕	292万円
吉川デイサービスセンターあじさいの家の結露防止修繕	73万円
柿崎第一学校給食センター調理室等の床修繕	181万円
柿崎総合運動公園野球場トイレの内部修繕	118万円
柿崎第1庭球コート人工芝の張替	1965万円
その他、細かいものは市のホームページをごらんください。	

3月下旬に3冊目の随想集出版へ

本のタイトルは「5センチになった母」。1冊千円。



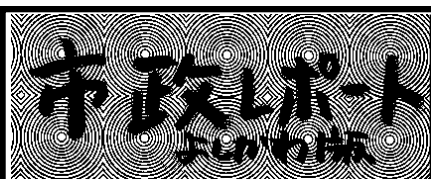
シリーズ 上越市内の橋

第27回

下保倉橋

「下保倉橋」と書いて「しもほくらし」と読みます。浦川原区内を流れる保倉川にかかった橋です。

橋の近くには円重寺があり、その先の菱田大池公園へ行くと、ふるさとへの思いが込められた山田あきの歌碑(うつしみの終のあぶらを捨てにゆく越の深山は水の音する)があります。橋長は約63メートル。竣工は2003年(平成15年)3月です。



NO 1437
2010.2.21

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪法一
Tel 548-3628 (有線) 4867
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>

春よ来い 第一二回 最後の輝き

今冬で一番のどか雪が降りはじめた日の朝のこと。市役所へ出かけようと準備をしていたときに電話が鳴りました。受話器を取ると、聞きなれた「もしもし、のりちゃん」という声が聞こえてきました。高崎市に住む従姉です。いつもどおり落ち着いた声だったので、「どうしたの?」ときくと、「うちのお父さん、今朝早く旅立ったの……」。電話は連れ合いが亡くなったという連絡だったのです。

一瞬、耳を疑いました。まだ、七〇代の半ば。昨年の春には自ら車を運転し、伊勢崎市に住む従兄たちとともにわが家に来ていました。その元気な姿が記憶に残っていたので、亡くなるとは思いませんでした。

翌日、大雪の中でやっと動いている電車に乗って高崎市へと向かいました。従姉の家では伯母が六年前に亡くなり、従姉夫婦だけの生活となっていました。それがこれからは従姉だけの独り暮らしになる。大丈夫かなと思いつながら、電車の中で従姉夫婦や伯母がお盆にわが家に泊まりに来たときのことを思い出しました。

わが家が乳牛を飼い始めて間もないころのお盆のこと、従姉夫婦は日産セドリックに乗ってわが家に戻ってきました。四十数年前のことですから、すごいなと思ったものです。従姉の連れ合いは車が大好きで、とても大切にしていた人でした。普段は技術家庭の先生をやっている、機械に詳しい人だと聞いていました。おそらく、車の手入れも自分でやれた人だったのでないでしょうか。

ある年のお盆、従姉夫婦は車ではなく、電車とバスに乗ってわが家に戻ってきました。どうしたのかと思いましたが、この時、連れ合いの顔を見てびっくりしてしまいました。真っ黒だった髪が一気に真っ白になっていたのでした。まだ、白髪になるような年齢でもないのにと思いましたが、深くは尋ねませんでした。後に、従姉から、交通事故で同じ車に乗っていた教え子を亡くしてしまったという話を耳にしました。車を手放したのは必要経費が高くなるからだと言っていました。本当はこの事故の責任を感じて一時、車の運転を控えたのではないかと。責任感の強い人でした。で、私はそう直感しました。

高崎市に着いたのはお昼すぎ。従姉の家に入り、亡くなった連れ合いの顔を見たと、き、そのおだやかな表情が印象に残りました。とてもいい顔だったのです。

炬燵に入ってお茶をご馳走になったとき、従姉は二枚の写真を私に見せてくれました。最初にを見せてくれた一枚目。上向きにちょっぴり開いた手。少し黄色くなったその手の細い五本の指を誰かが両手でしっかりと握りしめているのが写っています。上向きの手は明らかに従姉の連れ合いの手でした。ベッドの上から伸ばしたのでしよう。そしてもう一枚の写真を見せてもらい、すべてがわかりました。二枚目の写真には従姉の姿も写っていて、半纏を着た従姉が夫の手を握っていたのです。その時の従姉の目がじつに穏やかでやさしい。夫婦愛が輝いて見えました。

写真は従姉の連れ合いが亡くなる二時間ほど前に従姉の次女が撮ったものでした。この時は夫婦で会話もできたといいます。夫婦の手が一体となった時間がどれだけ続いていたのかはわかりませんが、従姉の次女はこの夫婦愛の輝きを記録しておきたかったのだと思います。人間は死を前にした時、どれだけ寂しさ、切なさを感じるのか私にはわかりません。でも、この写真のように、最愛の人が手を握っていてくれたらどれだけ気持ちよくなることか。うらやましく思いました。

加速する高齢化。65歳以上の住民が半数以上の集落は72に

このほど開かれた市議会中山間地対策特別委員会において、市役所の自治・地域振興課が高齢化の進んだ集落についての調査資料を明らかにしました。

この調査は今年の2月8日現在のもの。65歳以上の住民が50%以上を占めている集落数、55歳以上の住民が50%以上を占めている集落数、その他の集落数のそれぞれを13区と合併前上越市ごとに集計しています。

右表は、今回、同課が明らかにしたデータと2006年（平成18年）11月から12月にかけて市役所の企画政策課が行った調査結果を私が組み合わせて作成したものです。

わずか4年たらずの期間に、65歳以上の住民が50%以上を占めている集落数、55歳以上の住民が50%以上を占めている集落数とも大きく増えました。これは、今後の、過疎対策、中山間地対策を急がなければならないことを示しています。今後の委員会でも議論になるはずで

	65歳以上の住民 が50%以上を占 めている集落	55歳以上の住民 が50%以上を占 めている集落	その他の 集落	合 計
安 塚 区	7(6)	17(15)	5(7)	29(28)
浦 川 原 区	8(8)	8(5)	19(22)	35(35)
大 島 区	8(3)	9(14)	7(7)	24(24)
牧 区	10(10)	21(19)	8(10)	39(39)
柿 崎 区	8(6)	22(18)	28(34)	58(58)
大 湯 区		1(1)	22(22)	23(23)
頸 城 区		14(5)	42(51)	56(56)
吉 川 区	9(7)	22(12)	21(33)	52(52)
中 郷 区	2(0)	6(4)	16(20)	24(24)
板 倉 区	5(3)	19(16)	26(30)	50(49)
清 里 区	2(1)	9(5)	14(19)	25(25)
三 和 区		15(6)	31(40)	46(46)
名 立 区	3(0)	27(21)	13(24)	43(45)
合併前の上越市	10(11)	81(40)	244(287)	335(338)
合 計	72(55)	271(181)	496(606)	839(842)

※牧区大月及び上越市上真砂は、65歳以上の住民が50%以上を占めている集落であるが特別養護老人ホームを有するため、その他の集落に計上してあります。※安塚区を旧集落（自治会）単位としたため、調査時点の町内会総数（821）と一致しません。